

日本最大級の農事組合法人を中心経営体に位置付けたプラン

もりおかしとなん

(岩手県盛岡市都南地域(H25.3作成、H27.3見直し))

《概要・データ》

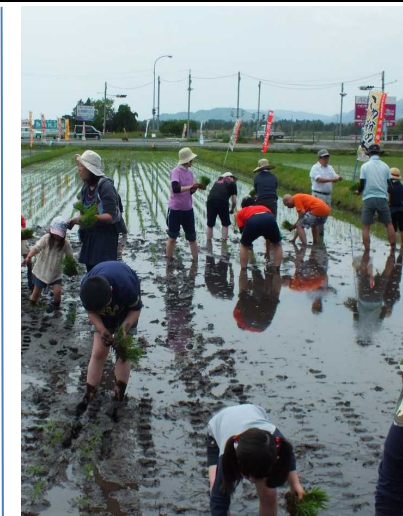
地域の特徴	盛岡市の南側に位置する地域であり、都市近郊地域、水田地域、中山間地域が混在する地域。 農家戸数1,702戸 地域内農地面積1,981ha
中心経営体	個別経営 138名、法人経営 9
出し手となる農業者	573名《提供予定農地面積 388ha》
農地集積	現状(H26)1,011ha(集積率51%)→目標(H29)1,188ha(集積率60%)

《特徴的な取組》

- 当該地域では、品目横断的経営安定対策を契機に、地域の農家の半数以上が参加し設立した集落営農組織をベースに、平成25年3月に構成員約900名、営農面積で700haを超える日本最大級の農事組合法人を設立した。当該法人は、構成員と作業受委託契約を結び、概ね大字単位に設置した「班」単位で営農活動を行っている。
- 当該法人の地域内の営農活動の推進にあたっては、集落座談会を繰り返し実施するなど合意形成につとめており、その話合いの結果をプランに反映させることでプランの作成・見直しを円滑に行うことができている。
- 当該地域では、今後、担い手不足や農地の分散錯圃の問題に対応するため、農地中間管理事業を活用して法人への利用権設定などを行って、作業の効率化、担い手の育成を進めていくこととしており、平成27年5月、6月にはプランに出し手として位置付けられた農地を含む合計約350haの農地について機構を通じて当該法人に利用権を設定した。

《プラン作成・見直しの経緯》

- 平成25年3月に検討会を開催しプランを決定
- 平成26年2月、平成26年7月、平成27年3月にプラン見直し



法人主催の米粉用米の
田植えイベント

毎年、米粉用米の田植えと
稲刈りの体験イベントを実施

(盛岡市位置図)

